

2年5組 松村 泰地

「金賞は5組」体育館に響いたこの声を聞いたとき、私のクラスからは大きな歓声が上がりました。うれし泣きをしている女子や近くの友だちと抱き合っている男子、結果発表後のみんなの顔はとても輝いていました。

「合唱コンで金賞とれたら、かっこいいよね。」この一言から私たちの歌練習は始まりました。私たちの選んだ自由曲は、手拍子やアカペラのある「新しい世界へ」という曲で、5組にぴったりの楽しい曲でした。初めの練習ではパート毎に音を取り、楽しく歌うことができました。しかし、練習を重ねる度、ただ楽しいというだけで歌っていては金賞をとることはできないという言葉が多く聞こえるようになりました。本番へ向けての目標を立てたとき、「金賞をとる。」「楽しんで歌う。」という意見ばかりだった5組に、気持ちだけでなく技術も高め、合唱コンクールへ取り組もうという雰囲気生まれていくように感じました。その頃から、合唱練習の雰囲気は変わり始めました。「楽しければよい」という雰囲気は消え、クラスの一人一人が、5組が、今どんな状況で、何を改善すればよいのかを考えられるようになりました。しかし、自由曲は難しく、男子が女子につられ、混声三部合唱とはほど遠いものになってしまうときもありました。それでも、男子と女子で言い合いになることはなく、それぞれが「がんばろう!」と声をかけ合うことができました。お互いにアドバイスをしながら練習すると、自然と各パートのバランスがとられるようになり、強弱もつけることができました。「5組なら絶対に金賞をとれる!」この思いを胸に本番の日を迎えました。曲紹介から始まり、不安だった出だしや、手拍子、アカペラの部分もミスなく終えることができ、クラスが一つになるのを感じました。そして、結果発表。5組は無事金賞をとることができました。今までの練習がむくわれてよかったと思うのと同時に、言葉にならないような喜びがこみ上げてきました。

2年生が終わり、私たちはいよいよ3年生になります。2年生の後半から私たちは、「最高学年としての自覚をもって学校を引っ張っていく!」という言葉に胸に努力をしてきました。私の思う最高学年としての自覚とは、感謝と尊敬の気持ちをもって、みんなのことを考え、自分から行動を起こすという意識を常にもつことです。

後輩が私たちの背中を見て、「こんなふうになりたい」「付いていこう」と思うような先輩を目指していきたいと思います。

2年生全員、感謝と尊敬の気持ちを持ち、胸を張って3年生へ進みます!